

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	プレジオ森河内ASIAN新築マンション	階数	地上15F
建設地	大阪府東大阪市森河内西	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居専用地域・準防火	平均居住人員	56人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年2月 予定	評価の実施日	2023年10月7日
敷地面積	1,194 m <sup>2</sup>	作成者	UrbanoDesign 安松高志
建築面積	217 m <sup>2</sup>	確認日	2023年10月7日
延床面積	2,674 m <sup>2</sup>	確認者	UrbanoDesign 安松高志



ださい

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.9**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

**LR のスコア = 3.2**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	周辺地域の色彩や街並みに合わせて計画し、景観に配慮した設計となっている。	その他 特になし。
Q1 室内環境	遮音性能が高い窓を採用し、音環境に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内に適切な緑地を確保している。
LR1 エネルギー	節水型機器を採用。	LR3 敷地外環境 適切な量の駐車場の確保。
Q2 サービス性能	給排水管・給湯管に耐用年数が高い配管を採用。	
LR2 資源・マテリアル	環境に配慮した断熱材を採用(吹付硬質ウレタンフォームLA種1)	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】	建物名称	プレジオ森河内ASIAN新築マンション計画						
	建設地	大阪府東大阪市森河内西						
	用途/区分	集合住宅						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B+	
①	CO2削減						3	
②	みどり・ヒート アイランド対策						2	
③	建物の断熱性						3	
④	エネルギー削減						4	
⑤	自然エネルギー直接利用						—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
	エネルギー消費量の報告						対象外	
【評価項目】								
	項目	評価内容					スコア	評価
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価					3.2	3
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価					1.0	2
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価					3.0	
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価					3.0	
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価					3.0	3
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価					4.0	4
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価					2.0	—
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。					報告する 報告しない	-
その他								
		技術の名称				考慮事項		
	先進的技術の導入							
	特に配慮した事項							